

幌延町における拠点・道の駅の検討状況について

○幌延町地域振興(観光)計画策定(平成28年度)

「幌延町観光振興計画」、「第5次幌延町総合計画」、「幌延町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進を図るため、また、天塩防災事業によるバイパス整備により、道路利用経路が大きく変わり、留萌方面、名寄方面からの通行がこれまで以上にバイパスに集約されることが予想されるため、これを契機に地域振興の一端を観光振興により図るため、「幌延町地域振興(観光)計画」を策定した。

幌延町の観光に関する各種計画について

幌延町観光振興計画～幌延“わくわくフロンティアN45°”構想～ (H9策定)

- <計画の構成>
- 第1章 幌延町の現況特性と観光・交流事推進の意義
 - 第2章 幌延町をめぐる観光動向と開発イメージ検討
 - 第3章 幌延町の観光事業推進の基本コンセプトと事業構想
 - 第4章 全体構想に基づく重点事業推進計画
 - 第5章 推進体制の確立方策

<基本コンセプト>
北緯45°の風が吹く
北のメルヘンランドほろのべ

<事業化のテーマ>
北の原野とトナカイ観光の
まちづくり

<まちづくりデザインのコンセプト>
北欧風のメルヘンチックなまちなみ

第5次幌延町総合計画後期基本計画 (～H31)

- <主要施策>
- 1 観光資源の発掘と広域観光の推進
 - ①観光資源の発掘(体験・滞在観光の開発、**新たな資源の発掘**)
 - ②観光施設の整備(町有施設・国立公園施設の管理運営、**新たな施設の可能性検討**)
 - ③広域観光の推進(広域観光ルートづくりや情報発信等の協働事業)
 - 2 観光PRとイベントの充実
 - ①観光PRの充実(パンフ、ポスターの作成やマスコミや町HPを活用)
 - ②観光イベントの充実(既存イベントの充実、町や各団体の行事をイベントと位置付け情報発信)
 - ③観光振興の体制づくり(観光協会の活動・組織を支援、商工会や農協、地元企業との連携した体制づくり、人材の育成、サービスの向上、ポスピタリティ運動)

幌延町まち・ひと・しごと創生総合戦略 (H27～H31)

- <基本目標>
- ②まちへ新しい流れをつくる
- <基本的方向>
- ア. 移住・定住の促進
 - ・住宅の提供や新築・中古住宅の取得等への支援
 - ・空き屋の把握
 - イ. 観光資源の発掘
 - ・新たな発想による情報発信。施設運営策の検討
 - ・鉄道系資産の有効活用
 - ・**町への新たな導線を確立するため、観光・防災・レジャー等の複合施設整備に向けた構想の具現化**

幌延町地域振興(観光)計画について【平成28年度策定】

平成28年度に「幌延町地域振興(観光)計画」を策定。主な内容は、以下の通り。

目指す姿		基本戦略	
メイン	「楽しい・美味しい・美しい」に出逢えるまち HORONOBE/ほろのべ	戦略1.	既存観光施設の魅力向上
サブテーマ	～北緯45°のゲートウェイ【関所】を目指して～	戦略2.	雄大な自然資源の活用
		戦略3.	幌延らしい新しい観光の創出
		戦略4.	幌延らしい滞在メニューの開発
		戦略5.	地域特産品の開発
		戦略6.	冬の賑わい創出
		戦略7.	情報発信の強化
		戦略8.	幌延町と宗谷地域における交流・交通の要処となる拠点の整備

基本理念	
①観光振興を通じてまちが“潤い・元気”になる	
②幌延にしかない貴重な体験・経験を提供し、“幌延ファン”を増やす	
③立地を活かし、宗谷地域を訪れる観光客の“交流点”となる	
④エネルギーを生産・研究するまちとして、“観光・環境・学術の共存”を目指す	
⑤“町民みんなが活躍”することで、人口減少に負けない観光まちおこしを実現する	

◇計画のメインテーマ	
「楽しい・美味しい・美しい」に出逢えるまち HORONOBE/ほろのべ.	⇒観光客が幌延で経験できることを表現
◇計画のサブテーマ	
北緯45°のゲートウェイ【関所】を目指して	⇒宗谷地域における交通・交流の拠点～「関所」という言葉で表現
◇5つの基本理念	
計画の根本となる考え方	
◇8つの基本戦略	
基本理念を実現するための具体的な方策	⇒「基本戦略1～7の取り組みの推進」、「町民や宗谷地域を訪れる旅行者が集う交通・交流の拠点の整備」について並行して検討



【検討テーマ】	
観光コンテンツ開発、特産品開発、拠点整備	
⇒『幌延町まち・ひと・しごと創生会議』での協議(平成28年度～)	
⇒『幌延町地域振興(観光)計画アクションプラン』策定(平成29年度)	
◇具体的な取り組み例	
<ul style="list-style-type: none"> ・協議(創生会議、ワークショップ、庁内検討) ・町内観光資源調査、町内観光関連事業者ヒアリング ・講演会、勉強会の開催 ・試行調査(フラワーボランティア、大学生モニターツアー、地元食材試食会) ・道の駅視察 	

【過年度までのまちなか・まちそと 拠点の検討整理】

項目	まちなか	まちそと
基本機能	<p>○休憩機能 利用者が無料で24時間利用でき十分な容量を持った駐車場、清潔なトイレ(原則、洋式)、子育て応援施設(ベビーコーナー等)</p> <p>○情報発信機能 道路及び地域に関する情報を提供(道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報等)</p>	<p>○地域連携機能 文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設</p> <p>○その他 施設及び施設間を結ぶ主要経路のバリアフリー化</p> <p>○設置者 市町村又は市町村に代わり得る公的な団体</p>
対象プラン	プランC:幌延市街(JR幌延駅付近)	プランA:新天塩大橋付近/プランB:幌延IC付近/プランD:その他
特性	道の駅利用者の町内周遊とともに、町民の利用を促す施設	アウトドア愛好家の他、大型車など道路利用者が気軽に立ち寄れる施設
立地の特性から考えられる機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ロマノフスキー放牧場 ・サイクリング拠点 ・スーパー銭湯(簡易宿泊設備付;憩いの湯代替施設) ・コンビニ(移転) ・長應寺宝物保管展示施設 ・鉄道駅との連携 ・イベント広場、朝市・夕市 <p><主に町民対象機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内遊技場 ・高齢者用住宅 ・保健センター ・社会福祉協議会 ・町民農園 ・コミュニティスペース ・バス発着場 ・コインランドリー ・商工会、JA 	<ul style="list-style-type: none"> ・トナカイ・ロマノフスキー観光(飼育)牧場 ・サイクリング拠点 ・シャワー ・ノースガーデン ・体験スペース広場(夏季:そば畑、施設園芸/冬季:スノーモービル・カイト体験場) ・小動物園、ドックラン ・電熱供給施設(バイオマス、廃棄物ペレット) ・川の駅(アクティビティ体験拠点/カヌーポート、保管庫)の併設 ※天塩川付近の場合 ・天塩川・サロベツ川遊覧船 <p><主に町民対象機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスペース ・チーズ工房などの加工施設
制約事項	(宅地造成等規制法)宅地造成工事規制区域⇒知事許可必要(公衆浴場法)	(森林法)伐採届、1ha以上の伐採⇒知事許可必要 (河川法)河川区域の占用、掘削、工作物⇒許可必要 (自然公園法)区域内での開発行為⇒禁止又は制限
備考	国道や道道からアクセス性(必要に応じて道を新設) 騒音対策 スペースに限られるので、既存施設・店舗との連携・補完が必要。	まちなかからのアクセス(町民利用) 既存施設(トナカイ観光牧場、ゆめ地創館)との連携

【■拠点整備に係る検討箇所位置図】

